

単元	Lesson 9 Sensitive Plants
----	---------------------------

配当時間 (6) 時間

生徒の実態
<ul style="list-style-type: none"> 科学的な分野の英文をあまり読みなれていない。 無生物主語構文に気づかないで直訳してしまい、英文の内容を正しく把握できない。 助動詞+have p.p. の用法を忘れている生徒が全体の6割。

次
目 標
学 習 内 容
手 だ て (全体・A層・C層)

Section 1
植物に対する新しい見方に気づかせ、探究心を持って英文を読む姿勢を育成する。
<ul style="list-style-type: none"> パラグラフごとの大意をつかむ。 本文を聞く。 本文の内容確認をする。 本文の音読をする。 内容把握ができているかを確認する。
配当時間 (2) 時間
<ul style="list-style-type: none"> 各パラグラフのトピックセンテンスを見つけさせる。C層～適切なヒント与える。 予習用白文プリントの下線部中心に文構造や意味を確認。C層～辞書を使って語彙の確認をさせる。構文を板書し、詳しく解説する。 T/F問題を与える。A層～本文を見ないで短時間で解答させる。C層～間違った箇所は本文を見て確認させる。

Section 2
各パラグラフのトピックセンテンスに含まれるキーワードをヒントに全体の話の流れを把握させる。
<ul style="list-style-type: none"> パラグラフごとの大意をつかむ。 本文を聞く。 本文の内容確認をする。～ 無生物主語構文 本文の音読をする。 内容把握ができているかを確認する。
配当時間 (2) 時間
<ul style="list-style-type: none"> 各パラグラフのトピックセンテンスに続く適切な英文を見つけさせる。 予習用白文プリントの下線部中心に文構造や意味を確認。C層～辞書を使って語彙の確認をさせる。構文を板書し、詳しく解説する。 T/F問題を与える。A層～本文を見ないで短時間で解答させる。C層～間違った箇所は本文を見て確認させる。

Section 3
アカシアの自己防衛策の仕組みの要点を素早く読み取る。
<ul style="list-style-type: none"> 本文を聞く。 大意を読みとれているか確認する。 本文の内容確認をする。～ 助動詞+have p.p. 本文の音読をする
配当時間 (2) 時間
<ul style="list-style-type: none"> 日本語で大意をまとめたプリントに適語を入れさせる。C層～間違った箇所つまり読み取れていなかった箇所に印を入れさせる。 予習用白文プリントの下線部中心に文構造や意味を確認。A層～教科書 G-1<助動詞+have p.p.>を含む例文の意味確認をさせる。C層～構文の確認や辞書を使って語彙の確認をさせる。




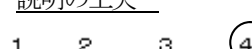


生徒のゴール像
<ul style="list-style-type: none"> 苦手意識を持つことなく興味をもって英文を読み進めることができる。 各パラグラフのトピックセンテンスを見つけ、ざっと話の大筋を理解することができる。 無生物主語構文、推量の助動詞+have p.p. の用法理解。

[手だて・工夫の有効性]
① 発問の工夫
② 板書の工夫
③ グループ活動の工夫
④ プリントの工夫
⑤ _____

次の単元・年度に向けて留意点
<ul style="list-style-type: none"> 精読と速読のバランスを取りながら授業を進めていくこと。 パラグラフ・リーディングを継続して指導すること。 各セクションだけではなく、課全体を読み通し、概要を把握する訓練も必要である。

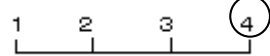
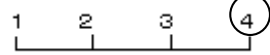
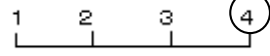

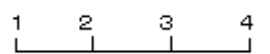

【授業シート】

◎授業者 [職名・氏名 教諭] ◎実施日・校時 [平成21年10月 日 () ・ 校時] ◎授業クラス [2年 組:生徒数 名] ◎実施場所 [2年 組]

学習の展開 (内容、活動)	授業の手だて・工夫 (指導上の留意点)			授業の振り返り	
<p>授業目標 植物に対する新しい見方に気づかせ、探究心を持って英文を読む姿勢を育成する。</p> <p>導入 「我が家における植物の過酷な生育環境」「話しかけによって生育状況が良くなった友人のハーブ」などの話を聞く。</p> <p>展開1 各パラグラフのトピックセンテンスを見つけ、おおまかな話の流れを理解する。 ———<パラグラフ内からトピックセンテンスとなる英文を選ぶことができる。(思考・判断)</p> <p>展開2 第1パラグラフの本文内容の確認をする。 ———<英文の構造やつながりを正しく理解し解釈することができる。(知識・理解)</p> <p>まとめ 本文の音読練習をする。</p>	全 体	A 層	C 層	手だての有効性	[手だて・工夫など]
	<p>この話から本課の題材について触れ、興味・関心を持って本文に入れるようにもっていく。</p> <p>見つけ方の確認をする。まずは1文目を検証させる。</p> <p>予習プリントの下線部の和訳、指示語、熟語などを中心に意味の確認を行う。</p>		<p>命令文や過去時制の文はトピックセンテンスにはならないとヒントを与える。</p> <p>仮定法の意味を含む文や分詞構文に気づきやすいように発問を工夫する。</p>	<p>本文の題材に関連付けた話をする事で、生徒の興味、関心を喚起することができた。</p> <p>生徒に指示をしながら一緒にトピックセンテンスを探すことができた。</p> <p>発問を工夫することで、生徒に考える機会を与えることができた。</p>	<p>① 発問の工夫 </p> <p>② 板書の工夫 </p> <p>③ 導入の工夫 </p> <p>④ 説明の工夫 </p> <p>⑤ _____ </p>
	<p>本文の内容がイメージできやすいように植物 (クレマチス) の写真を提示したり、例を挙げて補足説明をする。</p>			<p>視覚的理解の助けとなった。</p>	<p></p> <p>次の授業の改善</p> <p>導入の話や本文の補足説明においては、私が例を挙げるだけでなく、生徒に問いを投げかけて、生徒から例を引き出すような場面を設けたい。</p>
	<p>フレーズごとの意味を考えながら音読するよう指示する。</p>				

【授業シート】

◎授業者 [職名・氏名 教諭] ◎実施日・校時 [平成21年10月 日 () ・ 校時] ◎授業クラス [2年 組:生徒数 名] ◎実施場所 [2年 組]

学習の展開 (内容、活動)	授業の手だて・工夫 (指導上の留意点)			授業の振り返り	
<p>授業目標 各パラグラフのトピックセンテンスに含まれるキーワードをヒントに全体の話の流れを把握させる。</p> <p>導入 Section 2 新出単語テスト</p> <p>展開1 4つのトピックセンテンスの意味を正しく理解しているか確認する。 ——<英文の構造やつながりを正しく理解し解釈をすることができる。(知識・理解)</p> <p>展開2 4つのトピックセンテンスに続く適切な英文を選び、パラグラフを完成する。 ——<キーワードを見つけ、トピックセンテンスに続く適切な英文を選ぶことができる。(思考・判断)</p> <p>グループ 自分の答えをグループ内で確認しあう。</p> <p>全体 答え合わせをする。</p> <p>本文全体をCDで聞く。</p> <p>展開3 本文の内容の理解をはかる。</p> <p>まとめ 次回の内容確認をする。</p>	全 体	A 層	C 層	手だての有効性	[手だて・工夫など]
	<ul style="list-style-type: none"> テスト実施前にCDで発音の確認及び発音練習を行い、注意すべき発音やアクセントを含む単語に注意を促す。 	<ul style="list-style-type: none"> 単語帳ででてきた派生語や同義語も答えさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒が答えられなかった部分は構文や表現の確認をおこなう。 	<ul style="list-style-type: none"> 語彙力の補強を図るのに有効であった。 	<p>① 活動の工夫 (マッチング)</p> 
	<ul style="list-style-type: none"> 各トピックセンテンスに含まれるキーワードとなる語を見つけさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 早くマッチングが済んだ生徒は、本文の意味を取りながらじっくり読ませる。 		<ul style="list-style-type: none"> キーワードに注目させることでマッチングをスムーズに行えた。 	<p>② グループ活動の工夫</p> 
	<ul style="list-style-type: none"> なぜそのようなマッチングになったか根拠を述べ合わせる。 				<p>③ 板書の工夫</p> 
	<ul style="list-style-type: none"> 板書の英文のキーワードに印を入れ、確認させる。 				<p>④ A層への手だて</p> 
<ul style="list-style-type: none"> スラッシュを入れながら英文を頭から読ませる。 全体をもう一度読み直した上で、第3パラグラフ以降の予習をするように指示する。 		<ul style="list-style-type: none"> スラッシュを入れる箇所 (コンマや接続詞) を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> 板書に張った英文のキーワードを生徒に指摘させ、マジックで色分けすることで、視覚的にも生徒の理解度を高められた。 	<p>⑤</p> 	
					
<p>次の授業の改善</p>					
<ul style="list-style-type: none"> 普段なかなかできない活動を入れることで、英文を読むことの達成感を生徒に与えることができた。今後もリーディングに役立つ活動を取り入れていきたい。 生徒自身がキーワードを意識して読むことで、各パラグラフのおおまかな論展開の理解につながった。パラグラフ・リーディングを今後も継続して指導していく。 					